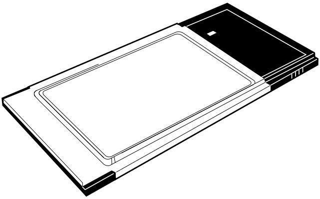
TOSHIBA

無線LAN PCカード
取扱説明書

IPC5038A



ご使用の前に、『安心してお使いいただくために』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お客様に安全に作業していただくための注意事項です。

もくじ

もくじ・・・・・・・・・・ 2
安心してお使いいただくために・・・・・・・・・・ 3
ご使用上のお願い・・・・・・・・・・ 6
はじめに・・・・・・・・・・ 8
本書の構成・・・・・・・・・・ 10
本書の読み方・・・・・・・・・・ 13
特長・・・・・・・・・・ 15
動作環境・・・・・・・・・・ 16

１章　ご使用の前に・・・・・・・・・・ 17
1 同梱品の確認・・・・・・・・・・ 18
2 取り扱いについて・・・・・・・・・・ 19
3 使用上のお願い・・・・・・・・・・ 20
4 各部の名称と機能・・・・・・・・・・ 23
5 構成図・・・・・・・・・・ 24

２章　本PCカードの設定・・・・・・・・・・ 25
1 設定の流れ・・・・・・・・・・ 26
2 インストールを始める前に・・・・・・・・・・ 27
3 ネットワークアダプタの設定・・・・・・・・・・ 29
4 ドライバのインストール・・・・・・・・・・ 30
5 ユーティリティの設定・・・・・・・・・・ 48
6 ネットワークの接続・・・・・・・・・・ 55
7 本PCカードの取りはずし・・・・・・・・・・ 60
8 ユーティリティのアンインストール・・・・・・・・・・ 63

３章　故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・ 65
1 トラブルシューティング・・・・・・・・・・ 66

４章　付録・・・・・・・・・・ 69
1 製品仕様・・・・・・・・・・ 70
2 用語解説・・・・・・・・・・ 71

５章　修理サービスのご案内・・・・・・・・・・ 73
1 ユーザサポート窓口のご案内・・・・・・・・・・ 74

安心してお使いいただくために

ご使用の前に、この「安心してお使いいただくために」と本書の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書をお読みになった後は、本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、お買い求めいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。
お子様がお使いになるときは、保護者の方が本書の中身をお読みになり、正しい使い方をご指導ください。

表示の意味

⚠危険	“誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う危険が、差しせまって発生する可能性があること”を示します。
⚠警告	“誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があること”を示します。
⚠注意	“誤った取り扱いをすると、人が傷害＊1を負う可能性、または物的損害＊2のみが発生する可能性があること”を示します。

＊1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。
＊2：物的損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさす。

図記号の意味

△	**この図記号は危険（警告、注意含む）を促す事項を示しています。** 具体的な警告内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
⃠	**この図記号はしてはいけない行為（禁止事項）を示しています。** 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
●	**この図記号は必ずしてほしい行為（強制事項）を示しています。** 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

免責事項について

- **地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**

⚠警告

●本装置の取り扱いについて

もし、異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発煙したときは、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。
「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

ACアダプタをコンセントから抜け

コップ、花びんなど、液体の入った容器を上にのせたり、近くに置かないこと

液体がこぼれて内部に入ると、火災・感電のおそれがあります。
また、物が落ちたときにけがをするおそれがあります。
もし、液体が内部に入ったときは、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

禁止

分解・改造・修理しないこと

火災、感電、故障、ケガのおそれがあります。
修理は、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。
本製品を分解した場合、保証やその他のサービスは受けられません。

分解禁止

ふろ場など、水がかかったり、湿気の多いところに置かないこと

感電のおそれがあります。

水場での使用禁止

落としたり、強い衝撃を与えないこと

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。
「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

禁止

⚠注意

●本装置の取り扱いについて

ステープル、クリップなどの金属類を内部に入れないこと

ショートし、発煙、発火のおそれがあります。

禁止

雨、きりなどが直接入り込むような場所では使用しないこと

雨、きりが付着して、火災、感電のおそれがあります。

禁止

アプリケーションソフトの作動中に電源を切らないこと

データ消失のおそれがあります。

禁止

ご使用上のお願い

●本装置の使用環境、保管場所および取り扱いについて

直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

禁止

極端に低温になるところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

禁止

急激な温度変化を与えないでください。

結露が生じ故障、誤動作の原因となります。
結露が生じたときは、室内に置き、自然乾燥させてから電源を入れてご使用ください。

禁止

磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

禁止

ほこりの多いところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。内部にほこりが入ったときは、お買いあげの販売店または「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

禁止

振動が強いところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

禁止

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質、変形、変色の原因となります。

禁止

用途制限について

●本製品は人の生命に直接関わる装置等(*1)を含むシステムに使用できるよう開発、制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

*1： 人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものを言います。
（生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器）

●本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム(*2)に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮(*3)が必要となるので、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に相談してください。

*2： 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。
（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）
（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

*3： 特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。

はじめに

このたびは東芝「無線LAN　PCカード」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本書は、「無線LAN　PCカード」の取り扱い方法および注意事項について説明しています。
ご使用にあたり、この説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご活用くださいますようお願いします。
また、本書は必要に応じてお使いいただけるように、取り出しやすい場所に保管してください。

●漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

●瞬時電圧低下対策について

この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お願い　本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

●お願い

・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
・メディアに記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
・購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご一報ください。
保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

●本サポートソフトウェアについて

・本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権はお客様に移転されません。
・本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
・書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。

●Trademarks

・Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他　の国における登録商標です。
・その他の商品名、商標は各社の商標または登録商標です。

本書の構成

本書の構成を次に示します。使用目的に合わせて必要なところからお読みください。

1章　ご使用の前に

本製品をお使いいただく前に知っておいて欲しいこと、注意などについて説明しています。

●梱包品を確認するとき
→「1同梱品の確認」

●本製品の取り扱いや注意事項を確認するとき
→「2取り扱いについて」「3使用上のお願い」

●本装置の各部の名称と機能を確認するとき
→「4各部の名称と機能」

●本装置を使用したネットワーク環境を確認するとき
→「5構成図」

2章　本PCカードの設定

本製品を使用するまでの設定方法について説明しています。

●本製品を使用するまでの設定の流れを確認するとき
→「1設定の流れ」

●インストールを始める前の注意事項等確認するとき
→「2インストールを始める前に」
PCカードスロットの電源供給の確認
パソコン本体の省電力機能が働かないように設定する
PCカードのドライバの確認
使用するPCカードスロットのモードを確認

●本PCカード以外のネットワークアダプタを使用不可にするとき
→「3ネットワークアダプタの設定」

●ドライバをインストールするとき
→「4ドライバのインストール」
Windows Meでのインストール
Windows 98でのインストール
Windows 95でのインストール（OSR2を例に）
Windows 2000でのインストール
Windows NT 4.0でのインストール
インストール後のドライバの確認

次頁へつづく

2章　本PCカードの設定

●ユーティリティをインストール、設定をするとき
　→「5ユーティリティの設定」
●ネットワークの接続設定をするとき
　→「6ネットワークの接続」
　　「NetBEUI」、「Microsoftネットワーククライアント」の確認
　　「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加
　　「コンピュータ名・ワークグループの確認
　　「Net BEUI」が表示されていないときは
　　「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されていないときは
●本PCカードを取りはずすとき
　→「7本PCカードの取りはずし」
　　Windows Me/98/95の場合
　　Windows 2000の場合
　　Windows NT 4.0の場合
●ユーティリティをアンインストールするとき
　→「8ユーティリティのアンインストール」

3章　故障かな？と思ったら

本装置が正常に動作しなかったり、何らかの問題が発生したと思われる時のハードウェア的な問題内容、及び対処方法について説明しています。

●本PCカードが正常に動作しなかったり、何らかの問題が発生したと思われるとき
　→「1トラブルシューティング」

次頁へつづく

4章　付録

本製品の仕様、本書で使われている専門用語の解説について説明しています。

●本製品の仕様を確認するとき
　→「1製品仕様」

●本書で使われている専門用語を確認するとき
　→「2用語解説」

5章　修理サービスのご案内

技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせについて説明しています。

●技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせをするとき
　→「1ユーザサポート窓口のご案内」

本書の読み方

■記号の意味

⚠警　告　・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注　意　・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または、物的損害のみが発生する可能性のあることを示しています。

お願い　・データの消失や、故障、性能低下を起さないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

メ　モ　・知っておくと便利なことを説明しています。

■画面の表し方

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total=××××KB

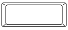
このように画面上または本文中の記号を×で表している場合は、実際には様々な数字や記号が入ります。

■入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを囲んで示しています。

Y キー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ を押してください。

1 キー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ を押してください。

Space キー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥  を押してください。

■操作の表し方

操作や作業は、次のように示します。

【例】

操作が1つですむ場合は、次のように示します。

Y キーを押す

キーを「＋」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

Ctrl ＋ Alt ＋ Delete キーを押す

Ctrl キーと Alt キーを押したまま Delete キーを押します。

■用語について

本書では、次の用語について定義します。

本PCカード‥‥‥‥‥‥‥「無線LAN PCカード」本体を示します。

システム‥‥‥‥‥‥‥‥‥特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム(OS)を示します。

アプリケーション
または
アプリケーションソフト‥‥アプリケーションソフトウェアを示します。

特長

本PCカードは、次のような特長をもっています。

◆IEEE802.11bに準拠しており、通信速度11Mbpsが可能

◆無線免許が不要な2.4GHz帯の小電力通信システムを採用

◆ノイズに強いDS-SS方式（直接拡散スペクトラム拡散方式）を採用

◆通信可能距離は、屋外50m 屋内30m （但し、使用環境により異なります）

※ 11Mbps時は、屋外50m 屋内30m

⚠注 意 **通信速度は規格による速度を示したものであり、実効速度は異なる場合があります。**

動作環境

PCカードスロット（TYPEⅡ）を装備しているパソコンに対応しています（NEC PC98-NXシリーズおよびEPSON製98互換機には対応していません）。

本製品は次のOSに対応しています。

・WindowsMe
・Windows98
・Windows98 Second Edition
・Windows95 OSR2以上
・Windows2000
・WindowsNT4.0

※ACPI機能には対応していません。

OSの確認と同時にドライブ構成の確認も行ってください。

本書では、
・3.5インチフロッピーディスクドライブ →【A:】
・ハードディスク(ローカルディスク) ドライブ →【C:】
・CD-ROMドライブ →【D:】

と表示しています。ご使用のパソコンのドライブ構成を確認したうえで、本書をお読みください。

1 章

ご使用の前に

本製品をお使いいただく前に知っておいて欲しいこと、注意などについて説明します。

1 同梱品の確認

主な同梱物については、別紙の『付属品チェックリスト』を参照してください。
万一、本製品に不都合な点が生じた場合は、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までお問い合わせください。

2 取り扱いについて

本PCカードについて

⚠注　意
- パソコン本体に接続して使用している最中や、使用直後の本PCカードに長時間触れないでください。
  低温やけどのおそれがあります。肌の弱い方は特にご注意ください。
- PCカードを取りはずす際は、PCカードを使用停止状態にしてください。
  使用停止せずにPCカードを取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。
- 本PCカードを使用中は、パソコン本体の省電力機能を使用しないでください。
  スタンバイモード／休止状態への移行、通常モードへの復帰が正常に行えない場合があります。
- スタンバイモード／休止状態の時にPCカードの抜き差しを行わないでください。スタンバイモード／休止状態からの復帰後にPCカードを正常に認識しない場合があります。
- システム起動時にPCカードスロットにPCカードを挿入している場合、PCカードを認識しなかったり、起動に時間がかかることがあります。PCカードを認識しない場合は、PCカードのイジェクトボタンを押し、PCカードを取り出した後、もう1度挿入し直してください。

お願い
- 上下にスロット0と1を搭載しているパソコン本体において、スロット0にタイプⅢのPCカードを取り付けた場合は、スロット1にPCカードを取り付けることはできません。

3 使用上のお願い

日常のお手入れと保管・運搬

●汚れたときは、柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは布に水または中性洗剤を含ませ固く絞り、コネクタ部に水や異物が入らないように拭きとってください。
●アルコール、シンナーなどの有機溶剤は、印刷された文字が消えたり、装置の材質を侵す危険がありますので、使用しないでください。
また殺虫剤などをかけないようにしてください。
●本PCカードを分解してのお手入れはしないでください。
●パソコン本体に本PCカードがセットされた状態で輸送しないでください。特に、電源の入った状態での移動は絶対に行わないでください。
パソコン本体や本PCカードを損傷することがあります。
●移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないようにしてください。誤動作したり、故障することがあります。
●輸送中の破損防止のため、ご購入時の梱包箱と梱包材をご使用ください。

妨害電波・電圧について

本装置はVCCI(情報処理装置等電波障害自主規制協議会)基準に適合している製品ですが、絶対に障害が発生しないということではありません。テレビ、ラジオへの影響がある場合は次のことを試みてください。

●テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える。
●テレビ、ラジオに対する本装置の方向を変える。
●テレビ、ラジオから離す。
●テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う。
●受信機に屋外アンテナを使う。
●平衡フィーダを同軸ケーブルに替える。
●コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてみる。

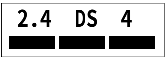
以上のような対策を行なってみてもまったく効果がない場合は、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」へご相談ください。
VCCIマークのついていない周辺機器を接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出ることがありますのでご注意ください。

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用チャンネルを変更するか又は電波の発射を停止した上、販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置等（パーティションの設置など）についてご相談してください。
- ●その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売店へお問い合わせください。

現品表示の内容は以下の通りです。



使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

規制物資に関する注意

この製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制物資（又は役務）に該当します。
日本国外へ輸出する場合は、同法に基づく輸出許可が必要です。

株式会社 東芝

This product falls under regulated products (or services) provided in the Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law of Japan.

If you would export it from Japan, you would be required to obtain the export license under the law.

TOSHIBA Co., Ltd.

異常や故障の場合

以下のような場合は、ただちにパソコン本体の電源を切り、ACアダプタをACコンセントから抜いて、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」にご相談または修理を依頼してください。

・故障
・異常な臭いや過熱・異音
・正しく接続しているにもかかわらず表示されない
・煙が出る

⚠警　告 **ご自分で修理や改造、または分解しないでください。**
火災や感電、ケガのおそれがあります。

修理・サービスについて

保証期間中および保証期間後の保守サービスについては、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」にご相談ください。

廃棄について

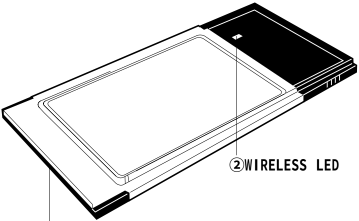
本PCカードの廃棄については、地方自治体の条例、または規則に従ってください。

4 各部の名称と機能

本装置表面

①カードスロット接続用コネクタ
パソコン本体のPCカードスロットに接続します。

②WIRELESS LED
無線側LANからのデータを送受信しているときに点灯ます。



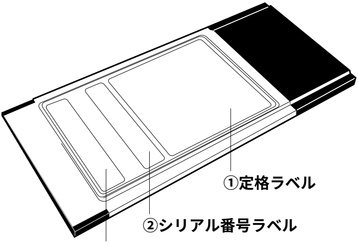
（注）図と異なる場合があります。

本装置裏面

①定格ラベル
本製品を安全に正しくお使いいただくために、「安心してお使いいただくために」は必ずお読みください。

②シリアル番号ラベル
シリアル番号はサポートを受ける際に必要となります。

③MACアドレス・ラベル
このアドレスを使用して通信を行います。

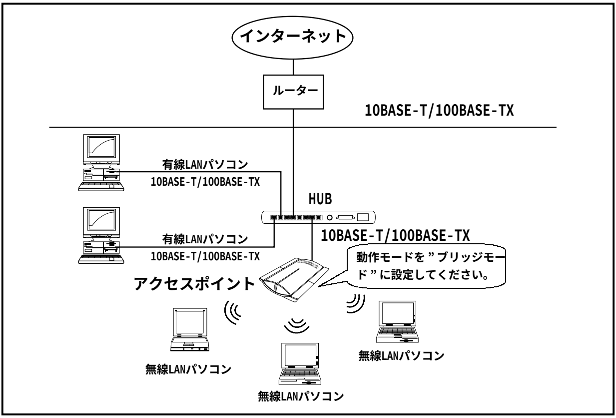


（注）図と異なる場合があります。

5 構成図

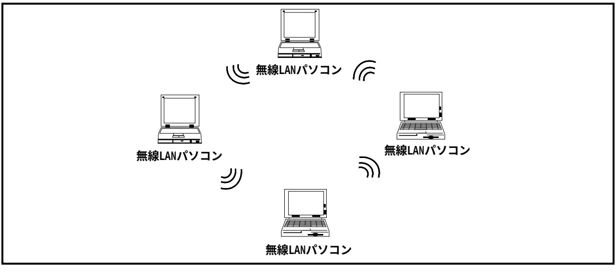
Infrastructureモード

既存の有線LAN接続環境に無線LANを混在させるInfrastructureモードでのネットワーク環境を構築します。



AdHoc/802.11 AdHocモード

無線LANパソコン同士での通信にて、AdHoc/802.11 AdHocモードでのネットワーク環境を構築します。



2章

本PCカードの設定

本製品を使用するまでの設定について説明します。

1 設定の流れ

本製品を使用するまでの設定の流れを説明します。
無線LAN PCカードを装着したパソコンより、アクセスポイントの設定をします。

I　ネットワークアダプタの設定

本PCカードのネットワークアダプタを使用不可能に設定します。

⇩

II　ドライバのインストール

本PCカードのドライバのインストールを行います。

⇩

III　ユーティリティのインストール

本PCカードのユーティリティのインストールを行います。

⇩

IV　ユーティリティの設定

本PCカードのユーティリティの設定を行います。

⇩

V　ネットワークの設定

本PCカードのネットワークの設定を行います。

2 インストールを始める前に

PCカードスロットの電源供給の確認

PCカードスロットの電源供給のON/OFF設定ができる機種では、電源が供給されるような設定になっていることを確認してください。
多くの機種では、この設定はドライバやパワーセーブ機能の中の項目にあります。
詳細についてはパソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『各パソコン本体の取扱説明書』

⚠注　意　**PCカードスロットに電源が供給されない状態では、PCカードが全く使用できませんので、ご注意ください。**

パソコン本体の省電力機能が働かないように設定する

パソコン本体では、設定された時間内に何も操作がなかった場合に、自動的に省電力機能を備えたものがあります。パソコン本体の機種によっては、この機能が働いた場合にPCカードスロットへの電源供給も止める場合があります。仮に本PCカードでこのような状態になると、再度PCカードスロットに電源が供給されても正常にドライバのインストールができないことがあります。
このような不具合を回避するためには、必ず省電力機能が働かないようにパソコン本体を設定してください。
詳細についてはパソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『各パソコン本体の取扱説明書』

PCカードのドライバの確認

Windows 2000、Windows Me/98/95を起動し、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「パフォーマンス」の順にクリックし、PCカードのドライバが32ビットであることを確認してください。

メ　モ　32ビットになっていない場合は、「コントロールパネル」の「PCカード」アイコンをダブルクリックしてください。PCカードウィザードが起動されますので、画面の指示に従って実行していただくと32ビットに変わります。詳細についてはパソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『各パソコン本体の取扱説明書』

使用するPCカードスロットのモードを確認

パソコンの機種によっては、PCカードスロットのモードを「CardBus」モードと従来の「PCIC互換」（または「PCIC Compatible」）モードに設定できる機種があります。設定可能なパソコンをご使用の場合は以下を参照してください。

●Windows 2000、Windows Me/98/95で使用する場合

PCカードスロットのモードを「CardBus」モード

●WindowsNT4.0で使用する場合

PCカードスロットのモードを「PCIC互換」（または「PCIC Compatible」）モードに設定してください。

設定方法については各パソコンの取扱説明書を参照してください。

⇒『各パソコン本体の取扱説明書』

メモ PCカードスロットを2つ以上持っているパソコン本体で、それぞれのPCカードスロットをCardBusモードで使用する場合は、PCカードスロットごとにドライバをインストールしてください。

3 ネットワークアダプタの設定

本PCカード以外のネットワークアダプタが内蔵されているパソコンをご使用の場合、正常に動作しません。以下の手順を行い、ネットワークアダプタを使用不可にします。
以下の説明は、Windows98を例としています。

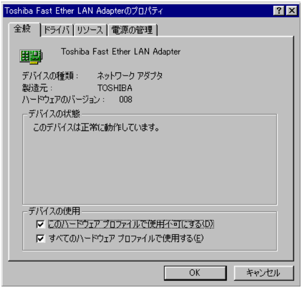
1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「システム」をダブルクリックする

[システムのプロパティ]画面が表示されます。

3 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、内蔵されているネットワークカードを「ネットワークアダプタ」欄より選択し、「プロパティ」をクリックする

右の画面が表示されます。



4 「全般」タブの中の「デバイスの使用」で「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックを入れ[OK]をクリックする

[システムのプロパティ]画面の使用を不可にしたアダプターに赤い×印が付きます。

5 「OK」をクリックする

⚠注　意

- **Webブラウザは、「Internet Explorer4.0」以降、「Netscape Navigater3.0」以降を使用してください。**
- **設定前に無線LAN PCカードがインストールされていることを確認してください。**

4 ドライバのインストール

Windows Meでのインストール

1 Windows Meを起動し、付属のドライバ/ユーティリティディスクをCD-ROMドライブに挿入する

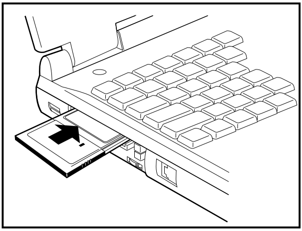
2 パソコン本体にダミーカードが付いている場合、ダミーカードを取りはずす

ダミーカードの取りはずし方や取り扱いについては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『パソコン本体の取扱説明書』

3 本PCカードをパソコン本体のPCカードスロットに挿入する

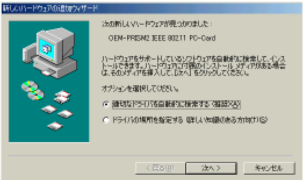
確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。



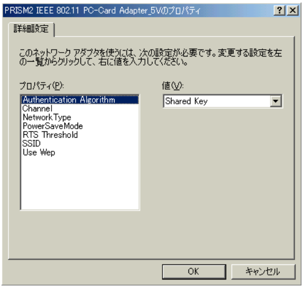
図は一例です。

[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。

4 「適切なドライバを自動的に検索する」を選択し、「次へ」をクリックする

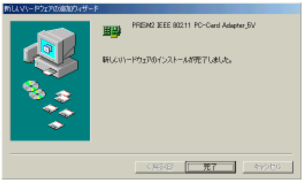


ドライバのコピーが完了したら「PRISM2 IEEE802.11 PC-Card Adapterのプロパティ」が表示されます。



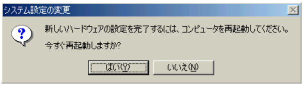
5 初期設定のまま「OK」をクリックする

右の画面が表示されます。



6 「完了」をクリックする

「今すぐ再起動しますか？」という再起動のメッセージが表示されます。



7 CD-ROMを抜き、「はい」をクリックする

再起動します。

Windows 98でのインストール

1 **Windows 98を起動し、付属のドライバ/ユーティリティディスクをCD-ROMドライブに挿入する**

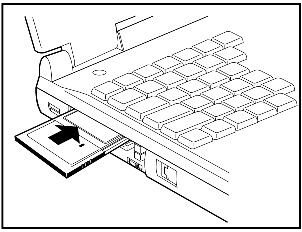
2 **パソコン本体にダミーカードが付いている場合、ダミーカードを取りはずす**

ダミーカードの取りはずし方や取り扱いについては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『パソコン本体の取扱説明書』

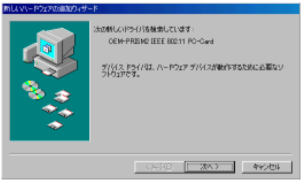
3 **本PCカードをパソコン本体のPCカードスロットに挿入する**

確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。



図は一例です。

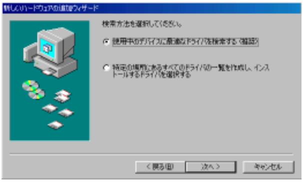
[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。



4 **「次へ」をクリックする**

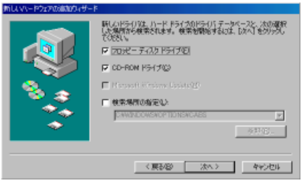
インストールを開始します。

検索方法を選択する画面が表示されます。



5 **「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックする**

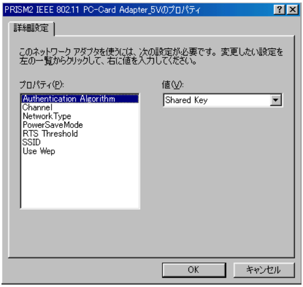
6 「CD-ROMドライブ」にチェックを入れ、「次へ」をクリックする



「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されます。

7 「次へ」をクリックする

「PRISM2 IEEE802.11 PC-Card Adapterのプロパティ」が表示されます。

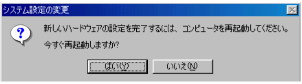


8 「OK」をクリックする

手順８の後、「”Windows98CD-ROM”ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」と表示された場合、Windows98のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、[OK]をクリックしてください。
また、[ファイルのコピー]画面が表示された場合、ファイルのコピー元を入力して「OK」をクリックしてください。
Windows98がハードディスクなどにコピーされている場合は、そのドライブを指定することもできます。
表示されない場合は、手順９へ進んでください。

9 「完了」をクリックする

「今すぐ再起動しますか？」という再起動のメッセージが表示されます。



10 CD-ROMを抜き、「はい」をクリックする

再起動します。

Windows 95でのインストール（OSR2を例に）

1 Windows 95を起動し、付属のドライバ／ユーティリティディスクをCD-ROMドライブに挿入する

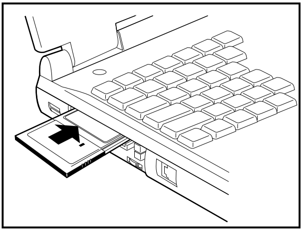
2 パソコン本体にダミーカードが付いている場合、ダミーカードを取りはずす

ダミーカードの取りはずし方や取り扱いについては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『パソコン本体の取扱説明書』

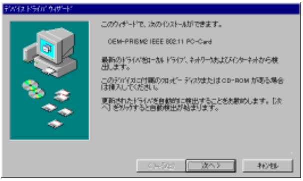
3 本PCカードをパソコン本体のPCカードスロットに挿入する

確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。



図は一例です。

［デバイスドライバウィザード］画面が表示されます。



4 「次へ」をクリックする

インストールを開始します。

［このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。］画面が表示されます。

5 [完了]をクリックする

「'PRISM2 IEEE802.11 PCMCIA/PCI Driver'ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]を押してください。」と表示されたら[OK]をクリックしてください。

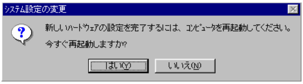
「'PRISM2 IEEE802.11 PCMCIA/PCI Driver'上のファイルCW10.sysが見つかりませんでした。」と表示されたら「ファイルのコピー元」の欄に「D:」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し[OK]をクリックしてください。

「PRISM2 IEEE802.11 PC-Card Adapterのプロパティ」画面が表示されます。

6 初期設定のまま「OK」をクリックする

「'Windows95CD-ROM'ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]を押してください。」と表示されたら、Windows95のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して[OK]をクリックしてください。
また、[ファイルのコピー]画面が表示された場合、ファイルのコピー元を入力して「OK」をクリックしてください。
Windows95がハードディスクなどにコピーされている場合は、そのドライブを指定することもできます。

「今すぐ再起動しますか?」という再起動のメッセージが表示されます。



7 CD-ROMを抜き、「はい」をクリックする

再起動します。

Windows 2000でのインストール

⚠注　意　**ログオンする際は、必ずAdministratorまたはAdministratorグループのユーザー名でログオンしてください。**

1 Windows 2000を起動し、付属のドライバ／ユーティリティディスクをCD-ROMドライブに挿入する

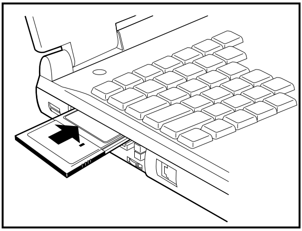
2 パソコン本体にダミーカードが付いている場合、ダミーカードを取りはずす

ダミーカードの取りはずし方や取り扱いについては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『パソコン本体の取扱説明書』

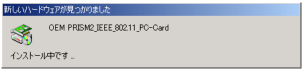
3 本PCカードをパソコン本体のPCカードスロットに挿入する

確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。



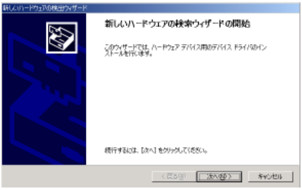
図は一例です。

[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されます。

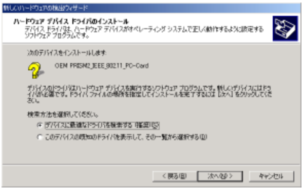


4 「次へ」をクリックする

インストールを開始します。

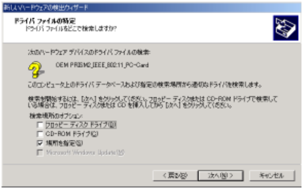


[ハードウェアデバイスドライバのインストール]画面が表示されます。



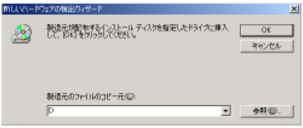
5 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）(S)」を選択し、「次へ」をクリックする

[ドライバファイルの指定]画面が表示されます。



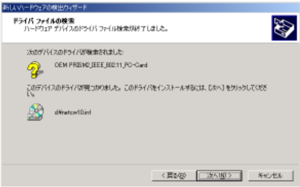
6 「場所を指定」を選択し、「次へ」をクリックする

右の画面が表示されます。



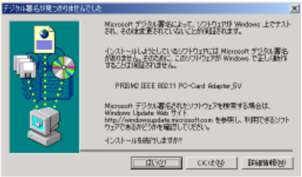
7 「製造元のファイルのコピー元」の欄に「D:\」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、「OK」をクリックする

[ドライバファイルの検索]画面が表示されます。



8 ドライバが検出されたら「次へ」をクリックする

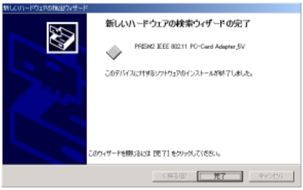
[デジタル署名が見つかりませんでした]画面が表示されます。



9 「はい」をクリックする

コピーを開始します。

10 ファイルのコピーが終了したら、「完了」をクリックする



ドライバのインストールは終了です。

Windows NT4.0でのインストール

⚠注　意

- **ご使用になる際は、「CardWizard for WindowsNT4.0」などのカードサービスがあらかじめインストールされていることが必要です。**
- **ログオンする際は、必ずAdministratorまたはAdministratorグループのユーザー名でログオンしてください。**
- **WindowsNT4.0では、Windowsを立ち上げた状態で無線LAN PCカードの抜き差しを行うことはできません。抜き差しを行なう際には必ずWindowsを終了させてから行ってください。**

インストール前の確認

ドライバのインストールをする前に、以下の点を確認してください。

●サービスパックの確認

1 [スタート]-[プログラム]-[管理ツール]-[Windows NT診断プログラム]を選択する

「バージョン」タブにサービスパックが表示されます。

「Service Pack」が「2」以上であることを確認してください。それ以外であれば、サービスパックの「2」以上をインストールする必要があります。

リソースの確認

1 **[スタート]-[プログラム]-[管理ツール]-[Windows NT診断プログラム]を選択する**

2 **「リソース」タブをクリックし、[IRQ]をクリックする**

「IRQ」の欄を見て、IRQの空き状況を確認します。

3 **「I/Oポート」をクリックする**

「アドレス」の欄を見てアドレスの空き状況を確認します。

「IRQ」と「アドレス」の空き情報はドライバのインストールの際に必要な情報となるため、メモを残しておくなどして忘れないようにしてください。

4 **[OK]をクリックし、「Windows NT診断プログラム」を閉じる**

ドライバのインストール

1 パソコン本体の電源がOFFであることを確認する

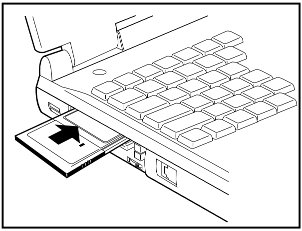
2 パソコン本体にダミーカードが付いている場合、ダミーカードを取りはずす

ダミーカードの取りはずし方や取り扱いについては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

⇒『パソコン本体の取扱説明書』

3 本PCカードをパソコン本体のPCカードスロットに挿入する

確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。



図は一例です。

4 パソコン本体の電源を入れる

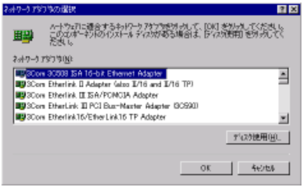
5 Windows NT4.0起動後、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]の順に選択する

[ネットワーク]画面が表示されます。

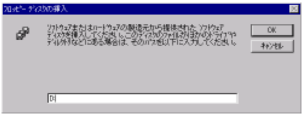
6 「アダプタ」タブをクリックし、[追加]をクリックする

[ネットワークアダプタの選択]画面が表示されます。

7 「ディスク使用」をクリックする



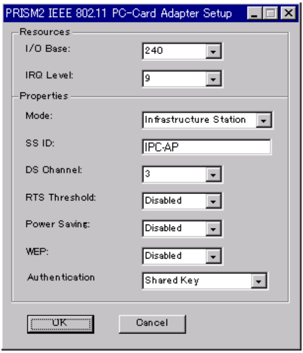
8 「ドライバ／ユーティリティディスク」をCD-ROMドライブに挿入し、パス入力の欄に「D:\」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力して[OK]をクリックする



「OEMオプションの選択」画面が表示されます。

9 「PRISM2 IEEE 802.11 PC-Card Adapter」を選択し、「OK」をクリックする

「PRISM2 IEEE802.11 PC-Card Adapter Setup」画面が表示されます。



10 「Resources」の「I/O Base」と「IRQ Level」の値が、インストール前に確認した「アドレス」と「IRQ」の値と重なっていないか確認して、「OK」をクリックする

11 「ネットワーク」画面の「ネットワークアダプタ」の欄で無線LAN PCカードが認識されていることを確認して、[閉じる]をクリックする

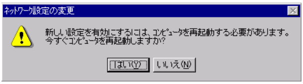
「Microsoft TCP/IPのプロパティ」画面が表示されます。

TCP/IPプロトコルを組み込んでいない場合、以下の操作をしてください。

組み込んでいる場合、手順１２へ進んでください。

①[ネットワーク設定の変更]画面が表示されますので「はい」クリックする

再起動します。

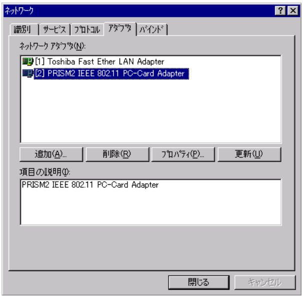


②「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワーク」の順に選択する

[ネットワーク]画面が表示されます。

③「アダプタ」タブをクリックする

④ネットワークアダプタ欄の「PRISM2 IEEE 802.11 PC-Card Adapter」を選択し、「閉じる」をクリックする



[Microsoft TCP/IPのプロパティ]画面が表示されます。

12 アダプタの欄に「PRISM2 IEEE 802.11 PC-Card Adapter」を表示させる

13 「IPアドレスを指定する」にチェックを入れ、使用しているネットワークアドレスを入力する

別売りの「無線LANアクセスポイント（IPC5037A）」を使用し通信を行う場合は、IPアドレス・サブネットマスクを以下のように設定して[OK]をクリックします（アクセスポイントIPC5037A１台とPCカードIPC5038A１台構成の初期値の場合）。
IPアドレス：192.168.100.201
サブネットマスク：255.255.255.0

14 「OK」をクリックする

[今すぐコンピュータを再起動しますか?]と表示されます。

15 フロッピーディスクを抜き、[はい]をクリックする

再起動します。

再起動後、「PRISM2 IEEE802.11 PC-Card,OEMネットワークPCカードデバイス挿入したカードは設定されていません。」のようなメッセージ画面が表示されることがあります。
この場合、ドライバがインストールまたは、設定されていない可能性がありますので、「修正」をクリックしてください。
「修正」をクリックすると、システムのドライバが必要となる場合がありますのでWindowsNTのセットアップディスクあるいは製造元が配布するインストールディスクを用意のうえ、画面の指示に従い、操作してください。

インストール後のドライバの確認

以下の手順に従って、ドライバのインストールが正しく行なわれていること、また正常に動作していることを確認します。

Windows Me/98/95の場合

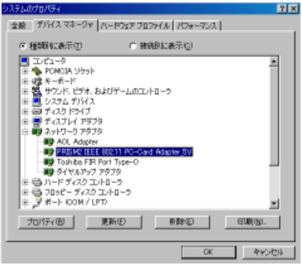
1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「システム」をダブルクリックする

[システムのプロパティ]画面が表示されます。

3 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ネットワークアダプタ」の中の「PRISM2 IEEE802.11 PC-Card Adapter_5V」を選択し、「プロパティ」をクリックする

[全般]タブの[デバイス状態]の欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されます。



4 「OK」をクリックしてこの画面を閉じる

「デバイスマネージャ」画面で正しく表示されない場合は、インストールが正しく行われていません。P.66の「デバイスマネージャの画面で「!」や「×」マークがつく(正しく認識されない)」を参照して、再度インストールしてください。

2章 本PCカードの設定

Windows 2000の場合

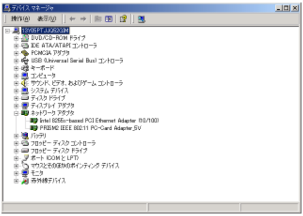
1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「システム」をダブルクリックする

[システムのプロパティ]画面が表示されます。

3 「ハードウェア」タブの中の、「デバイスマネージャ」をクリックする

[デバイスマネージャ]画面が表示されます。



4 「ネットワークアダプタ」の中の「PRISM2 IEEE802.11 PC-Card Adapter_5V」をダブルクリックする

「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。

5 「OK」をクリックしてこの画面を閉じる

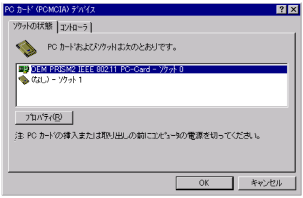
「デバイスマネージャ」画面で正しく表示されない場合は、インストールが正しく行なわれていません。P.66の「デバイスマネージャの画面で「！」や「×」マークがつく(正しく認識されない)」を参照して、再度インストールしてください。

Windows NT4.0の場合

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「PCカード(PCMCIA)」をクリックする

「PCカード(PCMCIA)デバイス」が表示されます。



3 「OEM PRISM2 IEEE 802.11 PC-Card-ソケット」を選択し、[プロパティ]をクリックする

「デバイスは正常に動作しています。」と表示されます。

「PCカード(PCMCIA)のデバイス」画面で正しく表示されない場合は、インストールが正しく行なわれていません。P.66の「デバイスマネージャの画面で「!」や「×」マークがつく(正しく認識されない)」を参照して。再度インストールしてください。

5 ユーティリティの設定

ユーティリティのインストール

⚠注　意　Windows　NT4.0の場合は、ユーティリティをインストールした後に、インストールしていたサービスパックを再度インストールしてください。

1 付属の「ドライバ／ユーティリティディスク」をCD-ROMドライブに挿入する

2 「マイコンピュータ」-「CD-ROM」-「Utility」-「Setup.exe」を選択する

Setup画面が表示されます。

3 「次へ」をクリックする

[インストール先の選択]画面が表示されます。

4 「次へ」をクリックする

別の場所にインストールしたい場合は「参照」をクリックしてインストール先を指定してから「次へ」をクリックします。

プログラムのフォルダ名の指定を行います。

5 「次へ」をクリックする

別の名前を指定したい場合はフォルダ名を入力してから[次へ]をクリックします。

右の画面が表示されます。

6 右の画面以外の任意の位置をクリックする

右の画面が表示されます。

6 「OK」をクリックする

インストールを終了します。

7 付属の「ドライバ／ユーティリティディスク」をCD-ROMドライブから取り出す

Configuration Utilityの設定

このユーティリティをインストールすることによって本製品の設定を簡単に行うことができます。

1 「スタート」-「プログラム」-「IEEE 802.11b Wireless LAN」-「Configuration Utility」を選択する

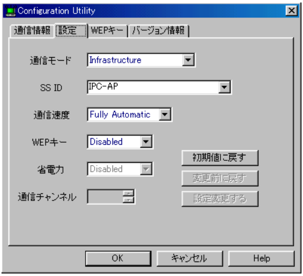
2 タスクトレイの中に（ ）が表示されたら、このアイコンをクリックする

[Configuration Utility]の画面が表示されます。

3 「設定」タブをクリックする

右図のような画面が表示されます。各項目を以降の説明文を参考にして設定してください。

「設定」タブを開いた状態で「Help」をクリックすると設定項目などの機能説明を見ることができます。



●通信モード

ネットワーク構成を設定します。

「Infrastructure」

アクセスポイントを使用して通信を行います。無線LANと有線LANを混在させ、　ネットワーク環境を構築します。

「AdHoc」

単純なピア・ツー・ピア接続でアクセスポイントが存在しない場合でも、無線LAN PCカードを装着しているパソコン同士でネットワーク通信を行うことが可能となります。

「802.11 AdHoc」

AdHocと同様で、無線LAN　PCカードを装着しているパソコン同士で通信を行うモードですが、さらに同一のSSIDを設定したパソコン同士のみでの通信が可能となる設定です。このためAdHocに比べセキュリティを強化することができます。

●SSID

無線LAN上で特定の相手と接続するための識別コードです。アクセスポイントを使用して通信を行なう場合は、アクセスポイントと同じSSIDを無線LANパソコン側に設定してください。無線LANパソコン同士で通信を行う場合は、通信を行なうパソコンに同じSSIDを設定してください。SSIDは、大文字・小文字の区別があり、半角英数字で32文字まで入力することができます。

注 意 **SSIDの設定は、802.11 AdHoc/Infrastructureモードのみで有効となります。**

SSIDの初期設定は「IPC-AP」となっています。

●通信速度

送信速度を設定します。最適なパフォーマンスで通信を行なうためには、通信速度を「Fully Automatic」に選択してください。

●WEPキー

無線ネットワーク上でデータのやりとりをする際に、そのデータを暗号化して保護します。64ビットまたは128ビットのキーを用いて暗号化することによってネットワーク上でのセキュリティを強化します。

Disabled：使用しない

64bit：すべての送信データに64ビットでキーを作成し、暗号化によるセキュリティを強化します。

128bit：すべての送信データに128ビットでキーを作成し、暗号化によるセキュリティを強化します。「64bit」よりもさらに暗号の強度が高まります。

注 意 **WEPキーを使用することによって、通信速度が低下します。**

●省電力

省電力機能はサポートしていません。

●通信チャンネル

無線通信で使用するチャンネルの設定を行います。

注 意 **通信チャンネルの設定は、AdHocモードのみで有効となります。**

4 入力が完了したら「設定変更する」をクリックし、設定を有効にする

設定が正しく行われていて、アクセスポイントと通信ができる状態であればタスクトレイの中のアイコンが緑色（ ）になります。

暗号の設定

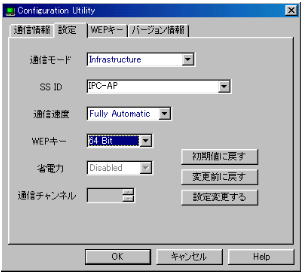
64/128ビットのWEPキーはユーザによって定義されたキー文字列（半角英数文字列で最大32文字まで）によって生成されます。以下の手順に従ってWEPキーを生成してください。

注　意

- **暗号を使用することによって、通信速度が低下します。**
- **暗号を使用して通信を行うには、通信を行うすべてのパソコンとアクセスポイントに同じ暗号を設定をしてください。**

●64ビットを使用する場合

1 「設定」タブを選択し、「WEPキー」の欄から64ビットを選択し、「設定変更する」をクリックする



2 「WEPキー」タブを選択し、キー文字列の入力欄にWEPキーとして使用したい文字列を入力する

（大文字・小文字を区別した半角英数文字32文字以内）

3 「作成」をクリックする

キー1からキー4までのそれぞれ5つの欄にキーが入力されます。

4 **デフォルトキーを1～4の中から選択する**

選択されたキーを使用して暗号化します。

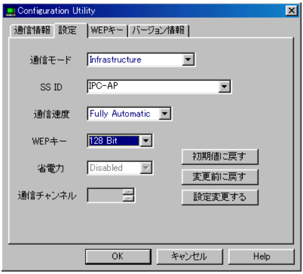
5 **「書き込み」をクリックして、設定内容を保存する**

6 **「OK」をクリックする**

[Configuration Utility]画面を終了します。

●128ビットを使用する場合

1 **「設定」タブを選択し、「WEPキー」の欄から128ビットを選択し、「設定変更する」をクリックする**



2 **「WEPキー」タブを選択し、キー文字列の入力欄にWEPキーとして使用したい文字列を入力する**

（大文字・小文字を区別した半角英数文字32文字以内）

3 **「作成」をクリックする**

キーが入力されます。

4 **「書き込み」をクリックして、設定内容を保存する**

5 **「OK」をクリックする**

[Configuration Utility]画面を終了します。

通信情報

通信状態や電波状態を確認したい場合は、「Configuration Utility」画面の「通信情報」タブで確認することができます。

[再検索]をクリックすると、現在の接続を切断し、アクセスポイントの再建策を行います。タスクトレイの中のアイコンが赤色（ ）のままのときは、[再検索]ボタンをクリックし、アクセスポイントの再検索を行ってください。

「通信情報」画面の見方が分からない時などは、「通信情報」タブの中の[Help]をクリックしてください。

⚠注　意　**AdHoc/802.11・AdHocモードの「通信情報」画面では、通信状態と電波状態のインジケーターは表示されません。**

6 ネットワークの接続

AdHocモードでパソコン同士の接続を可能にするための設定を行います。

⚠注　意　**Infrastructureモードを使用する場合は、アクセスポイントの説明書をお読みください。**

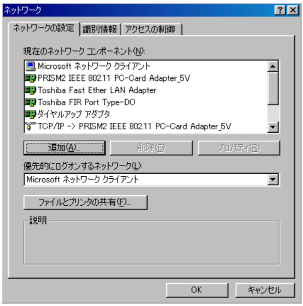
以下の説明は、Windows98を例としています。

「NetBEUI」、「Microsoftネットワーククライアント」の確認

「NetBEUI」、「Microsoftネットワーククライアント」の確認

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択し、「ネットワーク」アイコンをクリックする

[ネットワーク]画面が表示されます。

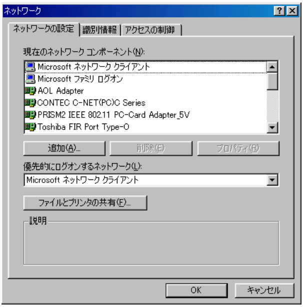


2 「ネットワークの設定」タブの中の「現在のネットワークコンポーネント」に「NetBEUI」と「Microsoftネットワーククライアント」が表示されていることを確認する

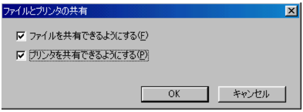
「優先的にログオンするネットワーク」の欄に「Microsoft ネットワーク　クライアント」が選択されていることを確認してください。

「Microsoftネットワーク共有サービス」の追加

1 「ネットワーク」画面で「ファイルとプリンタの共有」をクリックする



[ファイルとプリンタの共有]画面が表示されます。



2 「ファイルを共有できるようにする」・「プリンタを共有できるようにする」の両方のチェックボックスにチェックを入れ、「OK」をクリックする

チェックボックスにすでにチェックが入っている場合は、そのまま[OK]をクリックしてください。

「ネットワーク」画面に[Microsoft ネットワーク共有サービス]が追加されます。

コンピュータ名・ワークグループの確認

1 「ネットワーク」画面で[識別情報]タブをクリックする

2 「コンピュータ名」・「ワークグループ」・「コンピュータの説明」を確認、または設定し、「OK」をクリックする

設定を変更した場合は、「今すぐ再起動しますか?」と表示されます。

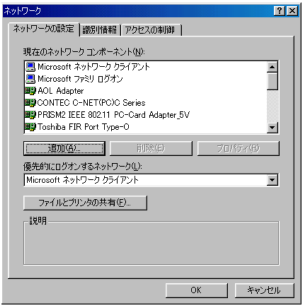
注　意　ネットワークに接続するパソコンはワークグループ名を全て同じ名前(半角英数字)に設定してください。

3 [はい]をクリックする

再起動します。

「NetBEUI」が表示されていないときは

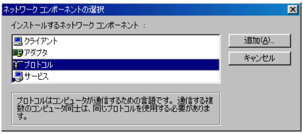
1 「ネットワーク」画面で「追加」をクリックする



2章　本PCカードの設定

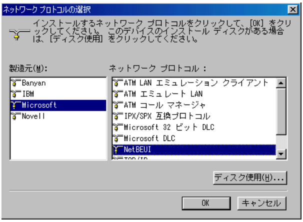
［ネットワークコンポーネントの選択］画面が表示されます。

2 「プロトコル」を選択して、［追加］をクリックする



［ネットワークプロトコルの選択］画面が表示されます。

3 「製造元」の欄は「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」の欄には「NetBEUI」を選択して［OK］をクリックする



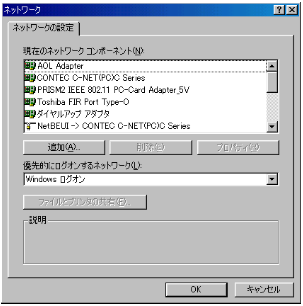
「ネットワーク」画面に、「NetBEUI」が追加され、「今すぐ再起動しますか?」と表示されます。

4 「はい」をクリックする

再起動します。

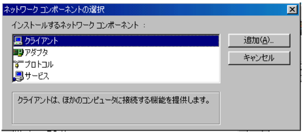
「Microsoftネットワーククライアント」が表示されていないときは

1 「ネットワーク」画面で「追加」をクリックする



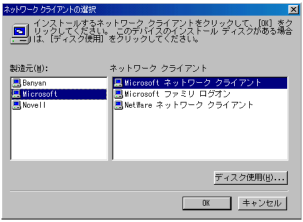
［ネットワークコンポーネントの選択］画面が表示されます。

2 「クライアント」を選択し、「追加」をクリックする

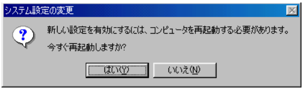


［ネットワークプロトコルの選択］画面が表示されます。

3 製造元の欄は「Microsoft」を選択し、「ネットワーククライアント」の欄は「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、「OK」をクリックする



「ネットワーク」画面に「Microsoftネットワーククライアント」が追加され、「今すぐ再起動しますか?」と表示されます。



4 「はい」をクリックする

再起動します。

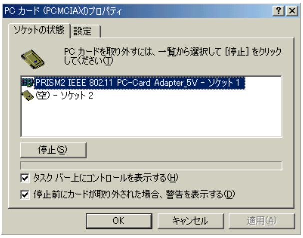
7 本PCカードの取りはずし

Windows動作中に本PCカードを取りはずす場合は以下の手順に従ってください。

Windows Me/98/95の場合

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択し、「PCカード(PCMCIA)」アイコンをクリックする

[PCカード（PCMCIA）のプロパティ]画面が表示されます。



2 「PRISM2 IEEE802.11 PC-Card Adapter_5V」を選択し、[停止]（Windows95の場合は[終了]）をクリックする

しばらくして、「このデバイスは安全に取り外せます。」と表示されます。

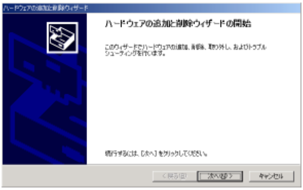
3 「OK」をクリックする

4 本PCカードを取りはずす

Windows 2000の場合

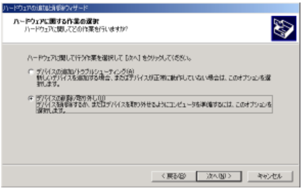
1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択し、[ハードウェアの追加と削除]アイコンをクリックする

[ハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。



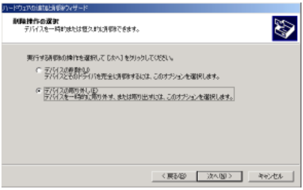
2 「次へ」をクリックする

[ハードウェアに関する作業の選択]画面が表示されます。



3 「デバイスの削除/取り消し」を選択し、「次へ」をクリックする

[削除操作の選択]画面が表示されます。



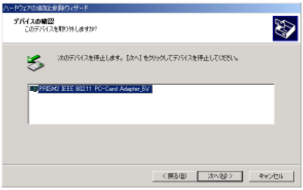
4 「デバイスの取り外し」を選択し、「次へ」をクリックする

[取り外すデバイスの選択]画面が表示されます。

5 「PRISM2 IEEE 802.11 PC-Card Adapter」を選択し、「次へ」をクリックする

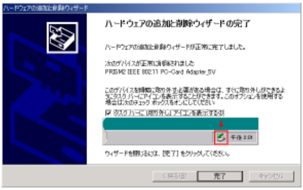
[デバイスの確認]画面が表示されます。

6 「次へ」をクリックする



[ハードウェアの追加と削除ウィザードの完了]画面が表示されます。

7 「完了」をクリックする



Windows NT4.0の場合

Windows　NT4.0では、Windowsを立ち上げた状態で、本PCカードの取りはずしはできません。
Windowsを終了させてから、本PCカードを取りはずしてください。

8 ユーティリティのアンインストール

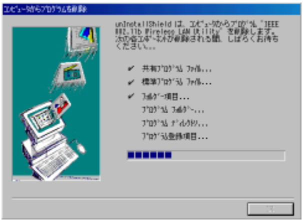
「Uninstaller」を実行して、ユーティリティを削除します。

1 「スタート」-「プログラム」-「IEEE 802.11b Wireless LAN」-「Uninstaller」を選択します。

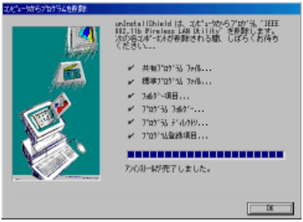
「'IEEE 802.11b Wireless LAN Utility'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」と表示されます。

2 「はい」をクリックする

[コンピュータからプログラムを削除]と表示され、アンインストールが行われます。



[アンインストールが完了しました。]と表示されます。



3 「OK」をクリックする

3章

故障かな？と思ったら

「カードがパソコンに認識されない……」などの困ったときの対処方法や本PCカードの仕様について説明しています。

1 トラブルシューティング

本PCカードが正常に動作しなかったり、何らかの問題が発生したと思われる時は、ここをお読みになり役立ててください。それでもなお解決できない場合は、「5章　修理サービスのご案内　1ユーザサポート窓口のご案内」をご覧のうえ、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」にご相談ください。
トラブルの原因には、本PCカードに関するハードウェア的な問題だけではないことがあります。問題が発生したときは、同時にご使用になるパソコン本体、他の周辺機器の取扱説明書もご参照ください。
また、オペレーティングシステム、デバイスドライバ、フォーマットソフトなどのソフトウェアが原因の場合もありますので、それらの取扱説明書もご参照ください。

Q1：カードがパソコンに認識されない。

■カードがパソコンのPCカードスロットに正しく奥まで差し込まれていますか？
・カードの差し込み方向などを確認して再度差し込んでください。
■パソコンのPCカードスロットが故障していませんか？
・PCカードスロットが2つあるパソコンをご使用の場合は、もう一方に差し込んでください。
・他のPCカードをお持ちの場合は、そのPCカードが認識されるか確認してください。

Q2：デバイスマネージャの画面で「！」や「×」マークがつく（正しく認識されない）。

■ドライバのインストールは正しく行なわれましたか？
・デバイスマネージャー上の「！」や「×」がついている「PRISM2 IEEE 802.11 PC-Card Adapter_5V」アダプタを削除し、再度インストールしてください。
■デバイスが「使用不可にする」に設定されていませんか？
・以下のように設定してください。
①デバイスマネージャ上の「ネットワーク　アダプタ」の「PRISM2 IEEE 802.11 PC-Card Adapter_5V」を選択し、[プロパティ]をクリックします。
②「デバイスの使用」の「このハードウェア　プロファイルで使用不可にする」のチェックを取り[OK]をクリックします。

Q３：無線LANパソコン同士で通信できない。

■ドライバのインストールは正しく行われましたか？

・ドライバが正しくインストールされているか確認してください。

■SSIDの設定は正しく行われていますか？

・通信しようとしているパソコンすべてに同じSSIDを設定してください。

■ネットワークの設定は正しく行われていますか？

・「２章 6ネットワークの接続」を参照してください。

■Windows98/95を起動したときに、パスワードを正しく入力しましたか？

・パソコンを再起動して、ユーザー名とパスワードを正しく入力してください。

Q４：アイコンが赤色で通信ができない。

■ユーティリティの設定は正しく行われていますか？

・「２章 5ユーティリティの設定」を参照してください。

・「Configuration Utility」画面の「通信情報」タブにある[再検索]をクリックしてください。

4章

付録

本製品の仕様、本書で使われている専門用語の解説について説明しています。

1 製品仕様

本PCカード

準拠規格	IEEE802.11/IEEE802.11b RCR STD-33,ARIB STD-T66	
使用周波数帯	2.4GHz帯	
チャンネル	1～14チャンネル	
信号伝送方式	DS-SS方式(直接拡散スペクトラム拡散方式)	
通信速度	11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動切替	
伝送距離	屋外50m、屋内30m(使用環境によって異なります)	
消費電力	0.4A(5V DC)	
外形寸法	114.5(W)×54(H)×5(D)mm	
重量	約50g	
環境条件	使用温度	5℃～35℃
	保存温度	-10℃～60℃
	湿度	8%～80%(結露なきこと)

※仕様は改良などのため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

2 用語解説

チャンネル

無線LANで使用できる帯域を14分割します。その1つ1つをチャンネルといいます。

SSID (Service Set Identifier)

SSIDとは、無線LAN上で特定の相手と接続するための識別コードです。アクセスポイントを使用して通信を行なう場合は、アクセスポイントと同じSSIDを無線LANパソコン側に設定してください。SSIDは、大文字・小文字の区別があり、半角英数字で32文字まで入力することができます。

暗号化(WEP：Wired Equivalent Privacy)

無線ネットワーク上でデータのやりとりをする際に、そのデータを暗号化して保護します。64ビットまたは128ビットのキーを用いて暗号化することによってネットワーク上でのセキュリティを強化します。

NetBEUIプロトコル

小規模LAN用のプロトコルです。NETBIOSと統合することによって、ワークグループのLAN環境で効率的な通信システムを実現することができます。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

TCPはトランスミッション・コントロール・プロトコルを意味し、IPはインターネット・プロトコルを意味します。この２つの組み合わせによりルータなどを経由して異なるプラットフォームの端末間で通信することが可能となります。

クライアント

ネットワークに接続されたパソコンのうち、一般のユーザーが使用する端末を意味します。

ピア・ツー・ピア

コンピュータ同士が1対1で対等に行う通信です。

AdHoc

単純なピア・ツー・ピア接続でアクセスポイントが存在しない場合でも、無線LAN PCカードを装着しているパソコン同士でネットワーク通信を行なうことが可能となります。

802.11 AdHoc

AdHocと同様で無線LAN PCカードを装着しているパソコン同士で通信を行なうことができます。さらに同一のSSIDを設定したパソコン同士での通信が可能です。AdHocに比べセキュリティを強化することができます。

Infrastructure

アクセスポイントを使用して通信を行います。無線LANと有線LANを混在させ、ネットワーク環境を構築します。

5章

修理サービスのご案内

技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせについて説明しています。

1 ユーザサポート窓口のご案内

●異常や故障が発生したら、次の ①～③の内容をご確認のうえ、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。

①使用している機器の名称

②ご購入年月日、ご購入先

③現在の状態（できるだけ詳細に）

●保証期間中の修理については、保証書の記載内容により、無料修理いたします。

●保証期間経過後の修理については、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

（修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります）

●海外での修理サービスについて

本製品の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外では修理をお受けすることはできません。

●郵送で修理依頼される場合のお願い

・郵送される場合の郵送料金、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担となります。

・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。

・保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理費限度額および連絡先を明示のうえ、商品に添付してください。

1．修理依頼品は緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）に入れるか、または郵送用の袋（メールバッグ→文具店などでお買い求めいただけます）などに入れて、お送りください。

2．郵送は簡易書留をご利用ください。

送付先

株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社

PC サービス・サポート事業部

IOS センター

〒101- 0021 東京都千代田区外神田1- 8- 13 東芝秋葉原ビル1F

電 話 03-3252-3063

MEMO

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

お客様ご相談窓口

この製品のアフターサービスは、下記の「お問い合わせ先」にて承っております。

この製品のご使用上のお問い合わせ窓口

◆受付時間◆
9:00～12:00　13:00～17:00
土曜、日曜、祝祭日、指定休日を除く

東芝ＰＣ ＩＯＳセンター
TEL　03-3252-3063
FAX　03-3257-3405

無線LAN PCカード取扱説明書

2001年6月　　Ａ１版発行

発　行　株式会社東芝　デジタルメディアネットワーク社
ＰＣサービス・サポート事業部

〒105-8001　東京都港区芝浦一丁目1番1号

http://www5.toshiba.co.jp/pcss/

Ⓒ 2001　TOSHIBA CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED　　無断複製および転載を禁ず